

**皆さんの力を結集して、困難を越え、
より質の高い養育を目指しましょう**

あけましておめでとうございます。いつもなら外に出たり、初詣に参詣したり、凧揚げ、コマ回しなどお正月定例の楽しみを味わっているところですが（今ではゲームでしょうか）、皆様には子どもたちと落ち着いた、なお家庭では賑やかな新年になっていることと思います。



昨年来のコロナ禍も続き、不安の中での本年を迎えざるを得ませんでした。ファミリーホームのお子さんや皆さん方が本年も健康で活躍されることを願っています。

さて昨年は日本ファミリーホーム協議会にとっては大きな進歩が重なりました。まず、保育園の利用が可能になったこと、そしてレスパイトも可能になったこと（詳細はこれからの運用にかかっていますが）、また4人目の補助者に対しての制度が作られたこと（408万円の補助、これも運用の詳細は各都道府県になってきます）など、私たちが例年、要望書でお願いしてきたことの大きな部分が実現してきたことです。これは、ファミリーホームの存在が大きく認められてきたことの証左であると考えています。皆さんの日常のご努力に対して評価が高まってきた結果だと思っています。あらためて皆さんに感謝申し上げます。

私たちの使命は、子どもたちにより高い質の養育を提供することです。今年もまた研修を充実するよう検討を加えるとともに、皆さんからのアイデアもいただきたいと思います。オンラインでの会議の便利さもあり、慣れてくることで多くのファミリーホームの方々との交流も可能になっています。この機会にファミリーホーム

交流を活発にし、各ファミリーホームの特長や悩みなどを分かち合うのも私たちにとっては必要なことと考えています。

令和3年は、早くコロナの終息を願い、心の青空を取り戻したいと願うとともに、全国のファミリーホームの皆さんの一層の奮闘をお願いし、新年のご挨拶といたします。



令和3年 丑年 1月

日本ファミリーホーム協議会 会長 北川 聡子